

業務委託仕様書

1 件名

財団サーバ構築・移行業務委託

2 概要

公益財団法人横浜企業経営支援財団（以下「財団」という。）では、AD サーバ及びファイルサーバを財団内に設置しオンプレミス運用を行っているが、事業継続性や情報セキュリティ対策における脆弱性、サーバダウンリスク等の課題を抱えている。これらの課題を解決するため、クラウドサーバ環境に移行し、情報セキュリティ対策を強化するとともに、運用負荷の軽減を図り、安定的なサーバ運用を行うことを目的とする。

3 事業実施期間

契約締結日から令和4年3月31日（木）まで

4 業務内容

クラウドADサーバへの移行設計、クラウドファイルサーバへの移行設計、テスト環境構築と移行テスト、データ移行、動作確認等を行う。

5 スケジュール

	2022 年 1 月	2022 年 2 月	2022 年 3 月
移行設計			
クラウド環境構築			
本番環境構築			
ルータ 設定・変更			
Active Directory 移行			
ファイルサーバ移行			
バックアップ設定			
動作確認			
サーバ切り替え			
検収			

6 システム要件

- (1) クラウドサーバ（以下「新サーバ」という。）は、以下の条件を満たす仮想マシン上にゲスト OS がインストールされたインスタンス（以下「実体」という。）を提供すること。

なお、財団で利用している Microsoft 製品との親和性や Windows Server からの移行となること等を考慮し、Microsoft Azure を利用するものとする。

ア OS は Windows Server 2019 とすること。

イ CPU 4 コア、メモリ 16GB 以上及びディスク容量 1TB SSD 以上であること。

ウ 共有フォルダ又はユーザー単位でクォータを設定できること。

エ マルウェア対策として、Windows Defender 等を標準装備すること。

オ AD サーバ及びファイルサーバは、同居しない構成で構築を行うこと。

カ 新サーバは、次の配置とし、各リージョンで同期が可能な仕組みを構築すること。

リージョン	内容
東日本	AD サーバ、ファイルサーバ及びバックアップ
西日本	AD サーバ及びファイルサーバ

- (2) VPN ゲートウェイを用いた Azure へのアクセス設定を行うこと。
- (3) リージョン間の同期は、常に同期をとれる状態にしておくこと。また、西日本の VPN ゲートウェイは常時スタンバイの状態を設定し、障害時において手動で西日本のリージョンと接続が可能な設定とすること。
- (4) 提供するクラウドサービスは、日本国内で運用され、国内法が適用されること。
- また、ゲスト OS の実体は、日本国内に配置するものとし、クラウドサーバ運用データセンターは国内に複数存在すること。
- (5) 今後ユーザー数の増減を考慮し、別途サーバ CAL を購入する必要がないよう、提供するクラウドサービス内にサーバ CAL が含まれていること。
- (6) 提供する実体に関しては、バックアップ取得設定を実施すること。バックアップ先はクラウドサーバ上とすること。また、バックアップデータは 10 日分を保管すること。
- (7) バックアップは、差分バックアップで行うものとする。
- (8) バックアップの取得のタイミングは「毎日」、「毎週」、「毎月」の中から指定できること。
- (9) バックアップはフォルダ/ファイル単位で取得し、同単位で復元を可能とすること。
- (10) 財団が現在使用している VPN ルータ（本部含む 3 か所）とクラウド環境とで、VPN 接続の構成が可能であること。

7 データ移行等作業

- (1) 現行 AD サーバ及び現行ファイルサーバは、当財団事務所内のオンプレミス環境に構築されており、利用容量はそれぞれ 60GB、1TB である。

- (2) 現行ファイルサーバは既存 Active Directory ドメインのメンバサーバーとして稼働している。新ファイルサーバでも Active Directory ドメインのメンバサーバーとして稼働させること。
- (3) 既設の AD サーバの設定を新サーバに移行し、新サーバでその設定が引き継がれたことを受託者が確認すること。
- (4) 現行のファイルサーバのデータ及び共有設定とアクセス許可設定、監査設定を保持した状態で移行し、新サーバでその設定が引き継がれたことを受託者が確認すること。
- (5) 移行作業スケジュールは、現行の AD サーバ（オンプレミス運用）のリース期限である令和4年3月31日までに動作確認及びサーバ切替えの上、検収が完了するよう財団担当者と十分に協議し、決定すること。特に VPN 経由でのデータ移行となるため、業務時間中（平日 8:30-17:15）の回線負荷に留意した作業計画とすること。
- (6) データ移行最終差分のコピーについては、エンドユーザーが現行ファイルサーバにアクセスしない平日夜間又は土日祝日に行うこと。
- (7) 新サーバの動作確認については、財団担当者ほか指定した者のみ確認可能とし、サーバの切替えでエンドユーザーはアクセス不可能な状態に設定すること。
- (8) クラウドサーバ環境の接続のための VPN ルータの設定変更は財団で行う。
受託者はクラウドサーバのゲートウェイの設定を実施し、パラメータを財団に提供すること。また、必要に応じて、財団の VPN ルータ設定変更作業の技術支援対応を行うこと。
- (9) 財団サーバ構築・移行業務期間中に発生する Azure の利用料については、本件業務に含まれるものとする。
- (10) 財団サーバ構築・移行業務後の運用・保守業務及び Azure の利用料については、別途業者を選定し契約を行うものとする。

8 履行体制

(1) プロジェクト計画書の策定

受託者は契約締結後、本業務を確実に履行できる体制を確立し、体制図、作業の進め方等を記載したプロジェクト計画書を速やかに提出すること。

(2) 成果物

次の成果物を印刷物及び電子媒体（メール、CD-ROM 等）で提供すること。

ア 進捗管理表

イ 課題管理表

ウ 議事録

エ ファイルサーバ移行設計書

オ クラウドサービスネットワーク設計書

カ 実体設計書

キ バックアップ設計書

ク 共有フォルダー一覧

ケ アクセス権（アクセス許可設定）一覧

コ Windows サーバ OS 設定仕様書

（３）受託者は、財団と定期的に打合せを実施して、進捗状況等を報告すること。

（４）財団は、本業務の履行に関して、受託者に対し説明を求め、また、補足資料の提出を要求することができる。

9 その他

（１）現サーバのデータ消去、撤去作業等は財団で行う。

（２）本仕様書に定めのない事項については、財団と受託者との協議の上、決定する。